



仏像半島 たんけん隊 ガイドブック

「仏像半島」へようこそ。

展示室内を歩いていくと、さつきお会いした仏像とよく似た像に、また出会ったりします。そう、仏像にはいくつかの種類しゅるいがある、ということに何となく気づくことになるでしょう。

でも、どんな種類があるの？ 仏像初心者にはちょっと難しいかもしれません。この小さな冊子さっしでは、仏像の世界を代表するいくつかの像に、自己紹介をしてもらいます。仏像って、みんな同じ顔してるよね…なんて思っている人に、読んでもらえたらうれしいです。

登場する仏像は、展覧会の内容にあわせて選んでいます。イラストのモデルになった仏像がどれか、展示室で探してみるのも良いでしょう。

今回、展示やこの冊子で紹介できなかった仏像も、たくさんあります。書ききれなかった特徴しゅとくも、もちろんいっぱいあります。

仏像のこと、もう少し知りたいな、と思ったら、10階の美術図書室へどうぞ。わかりやすい本をそろえて、みなさんをお待ちしています。*美術図書室の利用時間は、開館日の10時から18時までです。

阿^あ弥^み陀^だ如^に来^{らい}

こんにちは、阿^あ弥^み陀^だ如^に来^{らい}です。

「如来」は、「悟^{さと}りを開いた者」という意味です。「仏^{ほとけ}」というのも私たちのことなんです。ご存^{ぞん}知^ちでしたか？
生^{なま}きていると、いろいろ悩^{なや}んだり、迷^{まよ}ったりすることもあるでしょう。だれかにいじわるをしてしまつて、自

分^{ぶん}がイヤになつたりもします。
私^{わたし}たち「如来」は、修^{しゆ}行^{ぎやう}をして、そんな人間のつらく苦^{くる}しい気持^{きもち}ちから全く自由^{じゆう}になつた、「悟^{さと}り」の状^{じやう}態^{たい}にあるんです。

ええもちろん、ふつうの人は、そう簡単^{かんぱん}にはマネできませんよ。いろいろありますからねえ。だから、仏^{ほとけ}像^{ざう}としての如来は、ふつうの人を超^こえた姿^{すがた}で表^{あらわ}現^{げん}されてきたんです。
こんなふうに・・・

頭^{あたま}のてっぺんの、こんもりした部分^{ぶぶん}は、「肉^{にく}髻^{けい}」といいます。脳^{のう}ミソ^{みそ}がたくさんつまっているみたい？「肉^{にく}髻^{けい}珠^{じゆ}」というまるい玉^{たま}の部分^{ぶぶん}からは、ものごとの真^{しん}理^りを見る力^{りき}が光^{ひかり}となつてあふれているとか。

額^{おでこ}の真^まん^ん中^{ちゆう}にホク^{はく}ロ^ろがついてるって？これ^{これ}は「白^{はく}毫^{ごう}」といって、長^{なが}くて白^{しろ}い毛^けがまるまったもの。光^{ひかり}ることもある。仏^{ほとけ}はなんでもお見^みとおし、つてこと。

「定^{じやう}印^{いん}」は、瞑^{めい}想^{そう}のポ^ぽーズ。心^{こころ}を落^おちつかせて無^むの状態^{じやうたい}に。
*他^{ほか}にも様^{よう}々な組^{くみ}み方^{かた}があります。足^{あし}の組^{くみ}み方^{かた}にも注^{ちゆう}目^{もく}してくださね。

悟^{さと}りを開^{ひら}いた瞬^{しゆん}間^{かん}、
なんと全^{ぜん}身^{しん}が金^{きん}色^{しき}に！

パンチパーマをかけてるわけじゃない。「螺^ら髻^{けい}」といって、長^{なが}い修^{しゆ}行^{ぎやう}のあいだに伸^のびてしまつた髪^{かみ}の毛^けが、くるくる巻^まいてできたヘアスタイル。すてきでしょう？
髪^{かみ}の色^{いろ}は群^{ぐん}青^{じやう}色^{しき}。

実^{じつ}は40本^{ほん}も歯^はがあるんです。口^{くち}を開^{ひら}くと大^{おお}きな舌^{した}が・・・。

首^{くび}の下^{した}には、
3本^{ほん}のシワ。

着^きているものは、とても質^{しつ}素^そ。悟^{さと}りを開^{ひら}いてから、おしゃれや流^{りゆう}行^{こう}には興^{きやう}味^みがなくなりました。



ふつうの人^{ひと}とは違^{ちが}う、如来^{にらい}のからだの特^{とく}徴^{てう}は、目^め立^たつものだけでも三^{さん}十^{じゆう}二^にもあつて、微^び妙^{めう}な違^{ちが}いとあわせて「三^{さん}十^{じゆう}二^に相^{さう}八^{はち}十^{じゆう}種^{しゆう}好^{こう}」といいます。びっくりするような

特^{とく}徴^{てう}もあるんですよ。*10ペー^{ぺー}ジの「おまけ」を見てください。

あと、もうひとつ、私^{わたし}の大切^{たいせつ}な役^{やく}目^めは、死^しん^{しん}だ人^{にん}を、西^{さい}の方^{ほう}にある極^{ごく}楽^{らく}浄^{じやう}土^どへ連^つれていくこと。みなさんは、

極^{ごく}楽^{らく}つて、どんなところだと思^{おも}いますか？
さて、次のペー^{ぺー}ジでは、仲^{なつ}間^{かん}の薬^{やく}師^し如^に来^{らい}さんに登^{のぼ}場^{ばう}してもらいます。同^{どう}じ如^に来^{らい}でも、私^{わたし}（阿^あ弥^み陀^だ）とはちよつと違^{ちが}う役^{やく}割^{わり}をもっているんです。
あ、くわしいことは、本^{ほん}人^{にん}に聞^きいてくださいね。

薬師如来

どうも、ご紹介いただきました、薬師如来です。
私は、阿弥陀さんと違って、東のほうに住んでいます。
そこもなかなか良いところです。
名前に「薬」って付いているとおり、私のおもな役目は、みなさんの病気を治すことです。病気になることも、いろいろなありますがね。

死んでからのことは阿弥陀さんに任せますけど、とりあえず今病気で苦しんでいる人は、私のところへどうぞ。
そう、見た目は、阿弥陀さんみたいだけど、お見逃しなく。
が、ちょっと違うところもあるので、お見逃しなく。

あと、よく私と一緒にいる十二人の武将は、「十二神将」といいます。小さいけれどよく見てくださいね。
十二支にわかれていて、リーダーは持ち回りで、今年は「巳」が担当。
あなたの干支は？

大きな耳。よく聴こえそう。

よく「福耳」って言われます。昔はピアスをつけてたんですが、今はもうおしゃれには興味がなくて・・・。

手に持っているのは「薬壺」といって、何にでも効く薬が入っている。*持っていない薬師さんもいます。

「与願印」には、願いをかなえてあげる、という意味が。

蓮の花の台（蓮台）の上に立っています。泥の中からきれいな花を咲かせる蓮は、仏教の世界では特別な花なのです。

指と指のあいだに、水かきがついてます。どうしてだと思います？

「施無畏印」は、「大丈夫だよ」のポーズ。薬指がすこし前に出ていることも。

ネコ背？ いや、リラックスのポーズ。まっすぐ立って、ふうっと息を吐いてみると、こんな感じになるでしょ。

大きな足。土踏まずはありません。

じゃあ次は、がんばり屋の菩薩を呼んでみましょうか。

十一面観音菩薩



「仏面」。これは私の顔じゃなくて、如来の顔。

このビンに入っているのは「八功德水」といって、願いをかなえてくれる水。花がさしてあることも。

「十一面観音」の名前のとおり、11の顔を持っています。やさしい顔、こわい顔、牙をむいた顔がそれぞれ3つずつと、大笑いしている顔が1つ。あなた、どれと目が合いましたか？

菩薩の仲間は、おしゃれさんも多い。私たち、まだまだそういうことが気になるんですよ。服も見てくださいね。

はい、菩薩です。
私、まだ修行中なんです。
何のために、ですって？ もちろん、悟りを開いて如来になるためですよ。

あらためまして、正確には「十一面観音菩薩」と言います。どうぞよろしく。
菩薩の仲間には、いろいろありまして、ここでは全員ご紹介できないのが残念ですが・・・。

私たちは皆、如来になる日を目指しながら、あらゆる方法でみなさんを助けたいとがんばっています。たとえば、私は顔がたくさんあるけど、手がたくさんある「千手観音菩薩」なんてのもいます。どうしてたくさん手があると思います？

千葉のみなさんのために、特別にもう1人、菩薩の仲間から呼んでます。
妙見さん。

妙見菩薩

はーい、妙見菩薩です。
はじめましての方々も多いかもしれませんね。

私、妙見菩薩は、このあたりを治めていた千葉氏とも関係があるといわれています。

ちなみに、美術館の近くにある千葉神社は、北斗七星を祭る妙見信仰の神社ですね。

次のページでは、たくさんいる「天」と「王」の仲間から、かっこいいお二人に登場してもらいましょう。

「毘沙門天」と「不動明王」です。



他のみなさんとずいぶん違うヘアスタイルでしょう？

左手の人さし指と中指をそろえて立てた「刀印」を結んでいる場合もあります。それは、悪を断ち切るポーズ。

子どもの姿で表現されることが多い。

刀を持っているのは、正しいことのために戦うため。鎧を着ていることもある。

「霊亀」といわれる動物に乗っていることもある。

毘しゃもんてん 毘沙門天



「光背」。炎がついていて強そう。
光背を見ると、仏像の性格がわかるかも。

「宝塔」。宝物が入っている。

守護神のよろい。強そうなよろいは、よく見ると結構こっている。おなかの模様も見てください。

踏まれているのは「邪鬼」。ユニークな表情に注目！

毘沙門天です、どうも。
私、一人で活動しているときは「毘沙門天」を名乗ってますが、四天王って4人グループでいるときは、「多聞天」って言ってます。4人の中では、いちおうリーダー。
仏教の世界を守るのが私の役目。コワモテの武将の姿で表現されることが多いです。

ちなみに妻は吉祥天です♡



不動明王

不動明王です。
怒ってます。

なんで怒っているかって？ たまには、きびしく叱らないとね、やさしく言ってもわからない人たちは。

世の中には誘惑（ほしいもの）が多いから、負けそうな人には喝を入れてあげるんです。コラッ、しっかりしろー！！って。

「明王」の仲間、私の他にも何人かいますよ。だいたいみんな、こわい顔をしていますけど・・・。



「火焰光」。悪いものや、人々の煩惱（欲）を全部燃やしてしまいます。

口のはしから、牙が出ていることもあります。

おさげのようにして髪を左肩に垂らしている。

「羂索」は、縄のようなもの。5色の糸からできている、人々を正しい道へと連れていくための道具。

迷いを断ち切る剣

かたい岩の上に立っている。

指の間に、水かきのよ
うな金色の膜がある。



何を食べても最高に
おいしい！

声が大きく美しい

目が群青色

頭の上にも
りあがった
大きなこぶ
がある。



1. 足下安平立相そくげあんびようりゆうそう
2. 足下二輪相そくげにりんそう
3. 長指相ちようしそう
4. 足跟広平相そくげんこうびようそう
5. 手足指縵網相しゆそくにゆうなんそう
6. 手足柔軟相しゆそくまんもうそう
7. 足趺高満相そくふこうまんそう
8. 伊泥延脇相いでいえんせんそう
9. 正立手摩膝相しょうりゆうしゆましつそう
10. 陰蔵相おんぞうそう
11. 身広長等相しんこうじようとうそう
12. 毛上向相もうじようかうそう
13. 一一孔一毛相いちいちくいちもうそう
14. 金色相こんじきそう
15. 丈光相さいはくひそう
16. 細薄皮相しちしよりゆうまんそう
17. 七处隆満相りちやくげりゆうまんそう
18. 兩腋下隆満相りやうしんによしそう
19. 上身如獅子相だいいきしんそう
20. 大直身相けんえんまんそう
21. 肩円満相しじゆうしそう
22. 四十齒相しさいそう
23. 齒齊相げびやくそう
24. 牙白相ししきようそう
25. 獅子頬相みちゆうとくじようみそう
26. 味中得上味相だいぜつそう
27. 大舌相ほんじようそう
28. 梵声相しんしょうげんそう
29. 真青眼相ぎゆうごんしようそう
30. 牛眼瀟颯相ちようけいそう
31. 頂髻相びやくごうそう
32. 白毫相

足の裏がひらべったい

足の裏に模様がある

立ったとき両手がひざに
とどくくらいに長い。

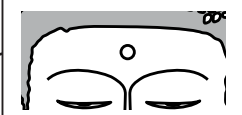
からだ全体が黄金色に
輝いている。

白くてきれいな歯が 40 本
ある。(ふつうの人は 32 本)

舌が顔よりも大きい

まつげが長く
て美しい

おでこの真ん中に白い毛
がある





2013.4.16(火)→6.16(日)

10:00-18:00(金・土曜は20:00まで)

※入場受付は閉館30分前まで

休館日◎ 5.7(火), 5.20(月), 6.3(月)

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
TEL: 043-221-2311
<http://www.ccma-net.jp>

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art